

ディスカバー農山漁村（むら）の宝の募集が始まりました！

ディスカバー
農山漁村の宝

応募は
こちらから

(応募受付中)

令和8年6月15日①～8月31日①

「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向け、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことによる地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信することを通じて他地域への横展開を図る取組です。

選定された地区には、選定証の授与を行うとともに、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」特設ホームページで情報発信をします。

☆募集する取組

- ① 美しく伝統ある農山漁村の次世代への継承
- ② 幅広い分野・地域との連携による農林水産・農山漁村の再生
- ③ 農林水産業の生産性向上、農林水産物や食品の需要拡大・付加価値向上に資する取組

<URL> <https://www.discovermuranotakara.com>

農福連携に取り組む優れた事例を表彰！「ノウフク・アワード2026」募集開始！

<URL> <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/260615.html>

農福連携に取り組んでいる優れた事例を表彰する、「ノウフク・アワード2026」の募集が始まっています。募集対象は農林水産分野と福祉分野が抱える様々な課題の解決等に貢献している団体等の取組です。

募集期間：令和8年6月15日（月）～8月24日（月）

<編集後記>

投稿いただいた写真です。
何の花だか分かりますか？
普段なかなか目にしない花だと思えます。
正解は欄外にあります。



みんなで耕そう！
人・地域・未来の豊かな循環

多様で魅力的な農福連携（ノウフク）の取組を募集します。

長瀬町でスイートコーンなどの露地野菜を生産・販売する、就農3年目の若手農業者高橋弘幸さんをご紹介します。

長瀬町在住の高橋さんは、長瀬町や秩父市で露地野菜を生産・販売する就農3年目の新規就農者です。長瀬町ではスイートコーン・枝豆などの夏野菜を栽培しており、農協の農産物直売所で販売しています。

もともと神奈川県在住で、大学時代には物理学を専攻していましたが、自然が好きなこともあり、家庭菜園をしていました。研究することが好きで、自分で考え、実践し、その結果を確かめることに魅力を感じており、物理学と農業は異なる分野ですが、農業もおもしろいと思い就農することを決意しました。

就農を目指すにあたり、農業を一から学ぶため、神奈川県立かながわ農業アカデミーの独立就農チャレンジコースで1年間学びました。アカデミーで学んだことは、農業技術だけではなく、人とのつながりもできて、とても大きな財産となりました。就農するため、神奈川県内の農地を探していましたが見つからず諦めかけていました。しかし、当初から着目していた長瀬町で、偶然にも師匠となる方に出会い、農地を借りられることになり、移住することになりました。

就農1年目は、神奈川県と秩父・長瀬の土壌がまったく違うのに戸惑い、あまり収穫することができませんでしたが、師匠から、長瀬町での野菜栽培のノウハウや教科書に載っていない農業技術を教わったこと、近隣の農業者の方々や若手農業者のネットワークでもある「秩父4Hクラブ」の会員の方々のアドバイスにより、2年目、3年目と少しずつ収穫量が増えていきました。改めて、人とのご縁やつながりの大切さを感じることとなりました。

将来的には、農業法人化を目指して農地を拡大していくつもりではありますが、当初の想定よりも難しい土壌だったので、焦らずゆっくり広げていこうと考えています。



スイートコーン畑

現在は、すべての農作業を基本一人で行っていますが、今後、手が回らない部分が増えた場合の効率化が課題になります。

就農を目指す方へのメッセージとして、『農業を「楽しい」との思いだけで始めることは甘い考えで、農地を借りることは、極めて大きな責任が伴います。自分がすべて責任を持つ代わりに、自分がやりたいようにやって、その結果がきちんと目の前に見えてくるので、これを楽しめる人は就農に向いていると思います。』

更に、「農業は地域貢献なのだとということ。自分が社会に役立っていると思える職業です。」と語ってくれました。



赤い服がトレードマークの
高橋 弘幸さん